

目で見て心で感じる涼 江戸情緒溢れるアートな水族館&ラウンジが日本橋に登場！

日本橋架橋 100 周年記念特別展

「アートアクアリウム展 ～江戸・金魚の涼～」& 「ナイトアクアリウムミュージアムラウンジ」

本企画は、日本橋架橋 100 周年記念「ECOEDO 日本橋 2011」の注目イベントで、江戸時代に花開き日本人に親しまれてきた金魚にスポットを当て、東京・日本橋三井ホールにて江戸ならではの粋な演出で、金魚の美を愛でる全く新しく涼しいアートアクアリウム空間をご覧ください。

冷房がなかった江戸の夏、人々は川遊びや浴衣姿での夕涼み、金魚鑑賞など、五感で涼を楽しむ知恵と工夫を生活に取り入れていました。本特別展では、それら生活様式を現代の方法にアレンジ、涼しさを目で見て心で感じる風情豊かなアート水族館として確立させました。節電が叫ばれるこの夏にぴったりな、涼やかな作品を展示いたします。作品は、総合プロデュースを手掛ける、アートアクアリウムプロデューサー木村英智の作品の中でも、特に有名な巨大金魚鉢「花魁」や屏風水槽をはじめとする、オリジナリティあふれる水槽アート作品が数多く並びます。

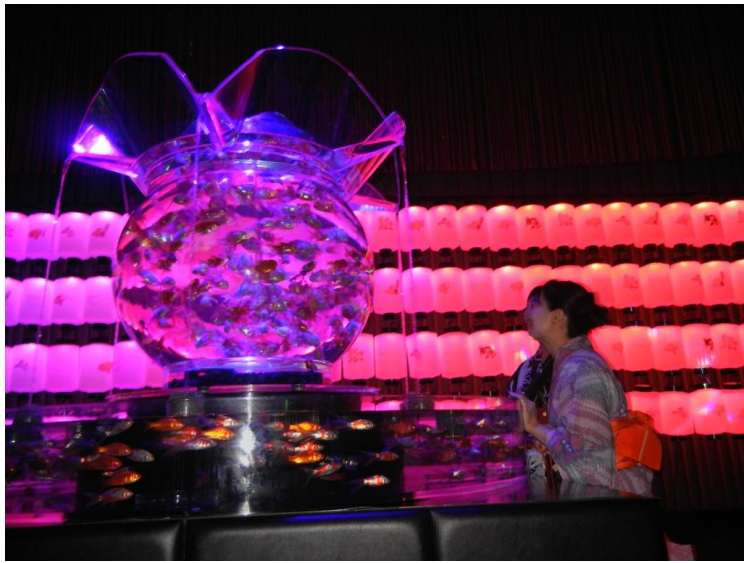
本展覧会の魅力は、生きたアートである金魚の、多種多様な生体の展示です。展示品種は、和金、出目金、琉金など聞き染みの深いものの中でも、第一級を展示いたします。また、地金・土佐金・ナンキンなどの高級金魚や、一般には目に触れる機会の少ない珍しい品種まで幅広く展示するため、金魚たちが持つ優雅さ、美しさと最新の演出技術とのコラボレーションを心ゆくまで堪能いただけます。

また、今回新企画として、「ナイトアクアリウムミュージアムラウンジ」を開催いたします。会場は午後 7 時から、音楽やライティングなどが夜バージョンに一変、バースタイルで、ドリンクを飲みながらゆったりとした気分でアート作品を回遊できる待望の企画です。神秘的な空間の中で、喉を潤しながら、金魚の彩りを感じて涼を楽しむことができます。しばし夢のような世界をお楽しみください。

概要

- ◆ **イベント名称:** 日本橋架橋 100 周年記念特別展
「アートアクアリウム展 ～江戸・金魚の涼～」&「ナイトアクアリウムミュージアムラウンジ」
- ◆ **日時:** 2011 年 8 月 12 日(金)～9 月 12 日(月)
アートアクアリウム展(昼)と ナイトアクアリウムミュージアムラウンジ(夜)の2部構成
日～水⇒11 時～23 時 (19 時～:ナイトアクアリウムミュージアムラウンジ)
木～土⇒11 時～25 時 (19 時～21 時:ナイトアクアリウムミュージアムラウンジ / 21 時～25 時:スペシャルイベント)
※最終入場、終了 30 前
※イベントスケジュールは内容が変更となる場合がございます。詳しくは公式 HP のイベントスケジュール欄にてご確認ください。
※19 時以降は会場内でドリンク・フードをお買い求めいただくことができます。
(入れ替え無し、お飲み物の注文はお客様の自由です)(持込不可)
- ◆ **場所:** 「日本橋三井ホール」 東京都中央区日本橋室町 2-2-1 コレド室町 5F(エントランス 4F)
アクセス方法⇒<http://www.nihonbashi-hall.jp/pdf/map/access.pdf>
- ◆ **入場料:** 当日料金⇒大人1,000円、子供(中学生以下)600円、3歳以下は無料
※前売券販売あり(キョードー東京、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、CNプレイガイドにて)
※スペシャルイベント営業の入場料は異なります。
- ◆ **総合プロデュース:** 木村英智
- ◆ **主催:** 株式会社エイチアイディー・インターアクティカ
- ◆ **後援:** 名橋日本橋保存会、三井不動産株式会社
- ◆ **協力:** 秋村泰平堂、アクアプロジェクト、Anonimo Design、エアアロマ・ジャパン、エフェクトメイジ、カミハタ、キョーリン、水作、東京コミュニケーションアート専門学校、バイコム、ParadiseJam inc.、PSLaser、松野工業、弥富金魚漁業協同組合
- ◆ **企画制作運営:** アクアリウムクリエイターズオフィス
- ◆ **公式ホームページ:** www.h-i-d.co.jp/art
- ◆ **お問い合わせ先:** 03-5569-8179

【会場風景】



【展示作品】

1. Flower² Aquarium(花瓶水槽)

新しいゴージャスアクアリウムの極み。水槽の中のアクアリウムディスプレイと水槽の外に飛び出すフラワーアレンジメントが競演する花瓶水槽がお客様をお招きします。



2. Zen Aquarium(壁掛け水槽)

日本画によく描かれる金魚。それをリアルで表現した額縁式のアート水槽です。まるで絵画を思わせるこの水槽では、横見(よこみ)の金魚の美しいシルエットがお楽しみ頂けます。



3. Kalleidorium(カレイドリウム)(万華鏡)

金魚が優雅に泳ぐ、横長の水槽。その側面には三角形のレンズが埋め込まれていて、中を覗くと幾何学模様が現れます。それは、金魚が描く万華鏡。レンズのそばを金魚が泳ぐたび、まるで万華鏡を回しているかの様に模様が美しく変化します。



4.金魚コレクション

金魚鉢を取り囲む水槽達は、金魚コレクションとして、耳にはしていても、実は普段中々目にする事のない正当な金魚品種や珍しい変わり品種を展示します。ゼブラ東錦、シルクオランダ、ドラゴンオランダ、メタリック朱文金など聞いたことのないような種類の金魚が鑑賞いただけます。注)展示品種については確定ではありません。



5. 花魁(巨大金魚鉢)

約 1000 匹の金魚が泳ぐおそらく世界で一番大きな金魚鉢。この作品は江戸の遊郭を表現しており、乱舞する金魚は花魁とそれを目指す女達を表しています。



6. Andonrium(アンドンリウム)(行燈水槽)

行燈水槽では、横から観るのが美しい横見の金魚をご覧になれます。中で泳ぐ金魚と側面にレースで施されたグラフィックとが、常に変化し続ける複雑な影を織り成し、金魚の新たな魅力を引き出します。



7. Byoburium(ビョウブリウム)(屏風水槽)

アクアリウムで屏風を作った逸作。水墨画風の映像を背面に投影しその前に泳ぐ金魚の影で、水墨画映像に動く金魚を加えたバーチャルとリアルとの融合が生んだ新しいアクアリウムアート作品です。金魚自身が動くアートである所以を強烈に印象づけられることでしょう。



8.プリズリウム

屈折効果がマジカルな視覚をもたらす多面体の特殊なアクアリウムです。巨大な 12 面体と 18 面体の2種類の水槽は、ダイヤモンドの様に輝き、水槽と言う枠を超えた造形美を見せてくれます。中を泳ぐ魚達はその屈折効果により大きく見えたり、小さく見えたり、時に歪んで見えたり、いたずらな視覚を楽しめます。水槽内部に映り込む魚の群れと、照明の代わりに投射された映像が水槽で乱反射してプリズム効果を生むのです。

9. 宇宙金魚

1994 年に向井千秋さんと共に、スペースシャトルコロンビアにて宇宙に旅立ち無事に帰還した金魚の子孫を展示します。



【総合プロデューサー 木村英智プロフィール】

1972年東京に生まれる。

「アート」「デザイン」「インテリア」と自身がライフワークとして追及している「アクアリウム」を融合させるアクアリストの第一人者。変幻自在な水槽デザイン、ハイレベルな水質調整、知り尽くした生体管理と組み合わせられる「アートアクアリウム」という独自の分野を確立させ、アクアリウムを用いて美術館でアートとして有料展覧会を開く唯一の存在となる。

展覧会におけるインテリア、ライティング、映像、音楽、空間構成も自らデザイン・監修する。

現在では、アクアリウムクリエイターズオフィスの本拠地をイタリア ミラノに移し、「アートアクアリウム」という自身が創った日本発の新しい分野をヨーロッパから世界に向けて発信すべく活動中。

六本木ヒルズにて夏季に定期的で開催されている「スカイアクアリウム」、金魚に特化し日本的な作品を集めた「アートアクアリウム展 金魚シリーズ」は特に有名で人気が高い。

「スカイアクアリウム」(2007年～2009年)では、延べ75万人以上の来場者。2010年の大丸ミュージアム京都、2011年大丸ミュージアム神戸で行われた「アートアクアリウム展」では、東京の1/3の広さの会場でありながら、その実績と話題性で約2週間で3万人以上の来場者があった。

また、環境保全活動も積極的におこなっており、米国フロリダの世界最高レベルの海洋学研究所であるハーバーブランチ海洋学研究所のアクアリウムマテリアルブランド「ORA」を日本に展開させ、アクアリウムと自然環境保護を結びつける活動や、大成功のアートアクアリウムと並行して、2004年から開催している「東京アクアリオ」は東京の中心で行われるアクアリウムを前面に出した海洋保全イベントであり、オーシャンアスリートなどの水に関わる多くの人々や美しい海を保有する国や地域からのサポートを受けた活動である。オーシャンアスリート達と共に取り組む海の自然を考える活動「One Ocean プロジェクト」などを盛んに行っている。



アートアクアリウムプロデューサー

木村 英智